

一般会計予算決算常任委員会記録

平成28年11月9日

【開催日】 平成28年11月9日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時52分～午前11時10分

【出席委員】

委員長	伊藤 實	副委員長	小野 泰
委員	岡山 明	委員	河野 朋子
委員	笹木 慶之	委員	下瀬 俊夫
委員	中村 博行	委員	松尾 数則
委員	矢田 松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
----	-------	-----	-------

【執行部出席者】

総合政策部長	川地 諭	財政課長	篠原 正裕
財政課主査兼財政係長	山本 玄		
教育長	江澤 正思	教育部長	尾山 邦彦
学校教育課長	笹村 正三	学校教育課主幹	下瀬 昌巳
学校教育課課長補佐	井上 岳宏	学校教育課主査	古屋 憲太郎

【事務局出席者】

局長	中村 聡	局次長	清水 保
----	------	-----	------

【審査事項】

- 1 議案第90号 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）
について

午前10時52分 開会

伊藤實委員長 それでは、一般会計予算決算常任委員会を開催します。議案第90号平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）について審査を開始します。それでは執行部の説明を求めます。

篠原財政課長 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)について、

まず財政課から総括的な説明をします。今回の補正は、学校給食共同調理場建設事業において、国の補正予算第2号により追加されることとなり、10月18日付けで学校施設環境改善交付金内定の通知があったことから、取り急ぎ措置すべき案件の補正です。では、補正予算の1ページ、今回の補正は、歳入予算の補正を行い、歳入歳出予算の総額328億7,014万4,000円は変更せず、財源の更正をするものです。次に2ページ、第1表歳入予算補正の歳入として、14款国庫支出金、18款繰入金、21款市債において補正額を計上しています。以上、総括的な内容について説明しました。続いて、3ページからの事項別明細書において、5ページ、6ページでは歳入、7ページ、8ページでは歳出を記載していますので、順次説明します。

井上学校教育課課長補佐 14款国庫支出金2項国庫補助金5目教育費国庫補助金4節保健体育費国庫補助金、学校施設環境改善交付金について、1億38万2,000円増額し、補正後の額を7億940万2,000円とするものです。補正理由としては、去る10月11日に国の一般会計第2次補正予算が成立し、10月18日付けで平成28年度分の文部科学省所管・学校施設環境改善交付金の交付内定通知を受けたことに伴い、財源更正を行うもので、対象事業費1億9,877万8,000円に補助率2分の1を乗じた9,938万9,000円に1%の事務費を上乗せした1億38万2,000円を増額補正するものです。

篠原財政課長 18款1項1目の財政調整基金繰入金978万2,000円の減額は、このたびの補正に係る財源調整により計上しています。これにより、財政調整基金の予算上の残高は31億462万2,000円となります。次に21款1項6目3節の給食施設整備事業債については、先ほど説明した国庫支出金の学校施設環境改善交付金1億38万2,000円を計上したことから、当該事業債を9,060万円減額するものです。この給食施設整備事業債については、当初予算において全額合併特例債を借り入れることとして予算計上していました。このたびは国の補正予算第2号により追加された事業となったことから、事業実施での地方負担等に係る地方債の取扱いとしては、補正予算債での借入れが可能となります。この補正予算債は充当率100%、後年度の元利償還金の50%が普通交付税に算入される地方債です。このたびの補正では、当該事業債を9,060万円減額していますが、内訳としては、合併特例債を1億8,890万円減額し、補正予算債を9,830万円増額しているところです。歳入については、以上です。次に、7ページ、8ページ、歳出で

す。10款6項3目給食共同調理場建設費において、補正額の計上はありません。先ほど説明した歳入補正額の計上により、所要の財源の更正を行っています。

伊藤實委員長 それでは執行部の説明が終わりましたので、委員からの質疑を受けたいと思います。

下瀬俊夫委員 今回の交付金ですよね。対象事業の2分の1ということになっていますが、対象事業の範囲を教えてください。

尾山教育部長 学校給食共同調理場に係るこの交付金の対象事業については、大きく分けて建屋に対するもの、もう一つは設備、厨房機器で、この二つに大別されます。具体的には、施設に対するものとしては、調理場の建屋です。それから調理場の中にはあるんですけども、自治体によって取り組んでいたり、取り組んでいなかったりするものがあるということで、分離しているものとして、炊飯エリアは別メニューになっています。それからアレルギー対策室も別メニューとして独立しています。これが施設に対する大きな三つのメニューとなっています。続いて設備に対するものとして、どこにでもあるような球根皮むき機、野菜裁断機、調理釜、揚物機、焼物機、冷蔵庫、食器洗浄機など、こういったものをひとくくりにして補助対象としているもの、それから別メニューとして、先ほどの炊飯エリアが別でしたように、ここでも設備として炊飯器、洗米機、お米を保管する米びつ、こういったものは別メニューで補助対象になっています。最後に野菜くずや残飯類でじんかいが出る分ですけども、これを処理する機械に対しても補助対象となっています。大まかにはこういったことでこの補助メニューが構成されています。

下瀬俊夫委員 いろいろ対象としてはそういうのがあるんでしょうが、問題はもらえれば何でもいいということですか。金銭的に全体で言えば約3億ですよ、交付金の金額が。これだけ入ってくるから特例債がそれだけ減るわけだから、入ってくればもうけものだというので今回待ったわけよね。1か月以上待ったわけでしょ。対象事業、もともと国のメニューそのものは限定的なわけでしょ。市が考えている事業は、大体対象事業の中に入っていると見ていいんですか。

尾山教育部長 文科省の補助メニューはあくまでも建物や建物の中にあるものということになっており、建物周囲の駐車場部分であるとか、境界フェ

ンス、こういったものは補助対象外になっていますので、簡単に言えばそういうすみ分けになっています。文科省の場合は、建屋本体であるとか設備関係についても事業費全てを補助対象にしていません。この児童生徒数であれば何平米までを補助対象とする、そして1平米当たり単価はこれこれとするというような掛け算で積み上げていって、補助対象事業費がはじかれて、その2分の1が補助金としてもらえると、交付金としてもらえるとという仕組みですので、現実の建設費とは大幅にかい離があるような状況にはなっています。

伊藤實委員長 合併特例債を1億幾ら使わなくなったと。その部分については今後ほかに活用するとかその辺についてはどのような考えなのか。

川地総合政策部長 今回は1億8,890万の合併特例債の減額ですけど、30年度の外構工事等については単独事業になりますので、この辺は通常債を活用する予定としていましたので、まずそちらのほうに充てる形になるかと思えます。それ以外に、計算上はまだ6,000万ちょっと余裕が出ますので、今の段階では具体的なものについてはまだ検討中ですけども、他の合併特例債事業に充てていこうという考えを持っています。

伊藤實委員長 分かりました。地震などで給食センターが被害を受けて供給停止になったときの対応については、これまでの委員会の中でも何度も議論してきたんですが、市としてはどのように対応するかは大丈夫ですか。

江澤教育長 地震の程度それから津波とかいろんな災害があります。それらを具体的に想定して、具体的なものをどうするのかというのはなかなか難しいところがあります。ですから、今言えることはそういう可能性があるという体制ででき得ることをするというところしか答えられないわけですが、地震でどうなのかというのは今の耐震基準で建っていますから、相当な地震が起きないと、全く使用不可になるということは考えていません。ではその可能性がどうなのかと言われるとなかなか難しいんですが、一月も二月も使用不可になるようなダメージを受けるということは現時点では想定していません。ですが、そういうことが起きたらどうするのかと言われるとゼロではないわけですから、それはその時点でできる限りのことをするとしか答えようがないわけです。

伊藤實委員長 すごく後退されたんですが、今までの議論の中では、そういうことも想定しながらその段階で考えるのではなく、いろんな手法がある

と思いますので、どうも今の教育長の答弁聞くと、すごく不安。給食センターについてもやはり親子方式のほうがそういうリスクを分散するという議論もあったわけでしょ。より危機感を持って対応してもらいたいと思います。それともう1点、先般野菜が高騰したとって給食を停止したところがありますが、山陽小野田市はそういうことはないでしょうね。

江澤教育長 学校訪問をかなりの頻度でしていますが、先日、「今日のメニューの野菜が非常に少ないのは」というおわびが入りました、それは高騰しているからと。そしてキャベツを使っているところをもやしにしたとか、いろいろ。だから現場でかなり苦心されていることは間違いありません。しかし、いろいろ工夫されているけれども、それが駄目になったということは聞いていません。

伊藤實委員長 ほかにないですか。それでは質疑を打ち切り、討論はありますか。

下瀬俊夫委員 基本的に反対です。

伊藤實委員長 ほかに討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）なければ採決に入ります。議案第90号平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）について、賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

伊藤實委員長 賛成多数で可決すべきものと決しました。以上で委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

午前11時10分散会

平成28年11月9日

一般会計予算決算常任委員会委員長 伊 藤 實